



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算補足資料

2024年8月14日



1. 2024年12月期第2四半期（中間期）決算概要	P. 2
2. 事業進捗状況	P. 5
3. ソリューションサービス事業	P. 8
4. エンジニアリングサービス事業	P. 11
5. 重点施策の取り組み状況	P. 14
6. 業績予想	P. 29
7. APPENDIX	P. 31
OGI GrowUp2028 概要	P. 32
会社概要	P. 37

CONTENTS



2024年12月期第2四半期（中間期）決算概要

1



2024年12月期第2四半期（中間期） 決算概要

売上高
3,794百万円
(前年同期比4.4%増)

売上総利益
1,055百万円
(前年同期比2.2%減)

営業利益
551百万円
(前年同期比4.5%増)

- 大手～中堅・地場ゼネコンへのサブスクリプションサービス(BooT.one)の導入や施工の効率化を目的とした受託開発が拡大
- 大手製造業向け顧客接点ソリューション(Easyコンフィグレータ, Webレイアウトプランナー)の導入が好調に推移
- 一部大型案件の立ち上げフェーズ(受注から設計プロセス)で収益の低下が発生
- 防災・減災、環境アセスメント業務は堅調に推移。人流データ等を活用したまちづくり計画支援業務が拡大
- CIM関連ソフトウェアの販売の受注に時間を要している
- 民間顧客拡大に向け鉄道事業者・高速道路事業者への活動を拡大中



2024年12月期第2四半期（中間期） 決算概要

(単位：百万円)

	当中間会計期間		前中間会計期間		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,794	—	3,634	—	159	4.4%
売上総利益	1,055	27.8%	1,079	29.7%	△23	△2.2%
販売費及び一般管理費	504	13.3%	551	15.2%	△47	△8.6%
営業利益	551	14.5%	527	14.5%	23	4.5%
経常利益	560	14.8%	546	15.0%	13	2.5%
中間純利益	387	10.2%	367	10.1%	19	5.4%
1株当たり中間純利益	67.91円		64.45円		3.46円	5.4%



事業進捗状況

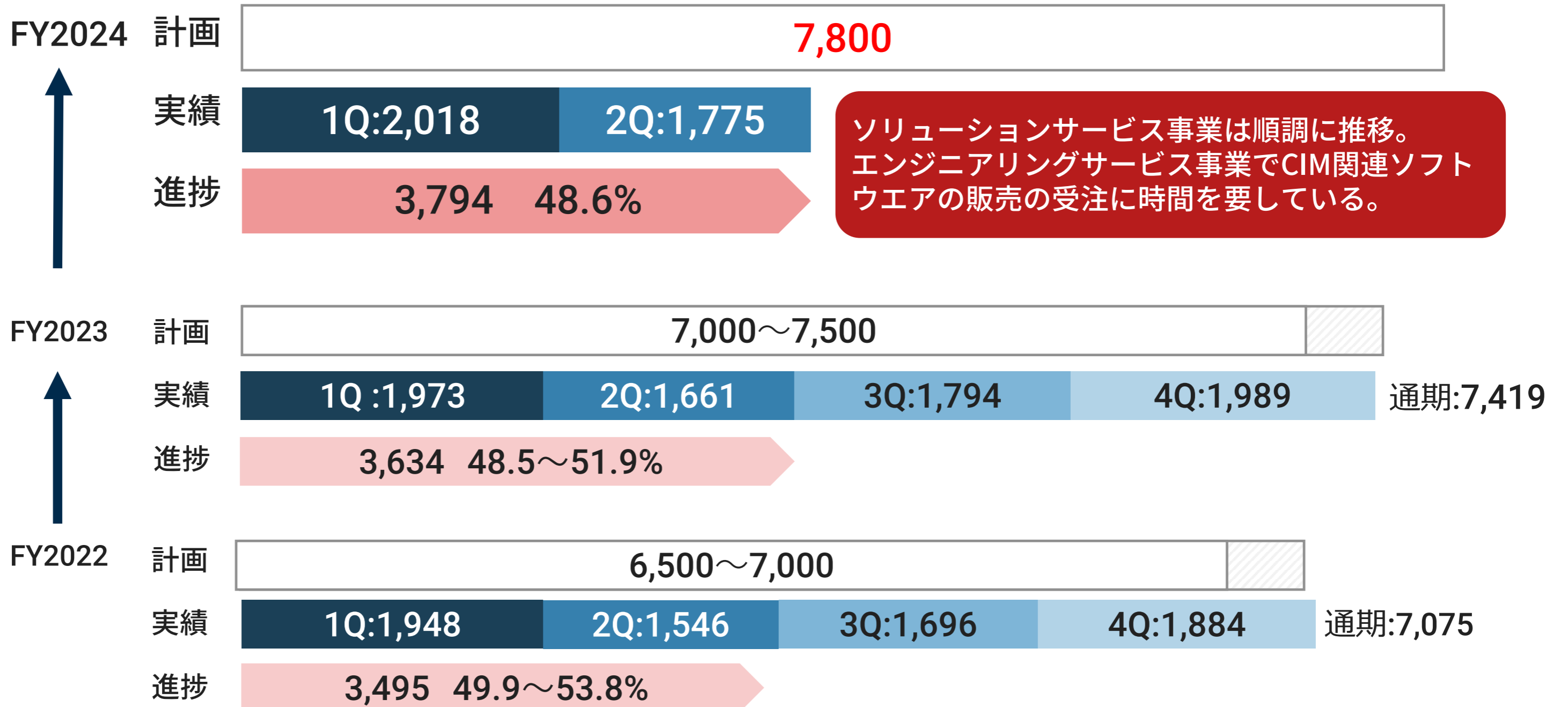
2



事業進捗状況（売上高）

通期売上予想に対する上期進捗率

(単位：百万円)

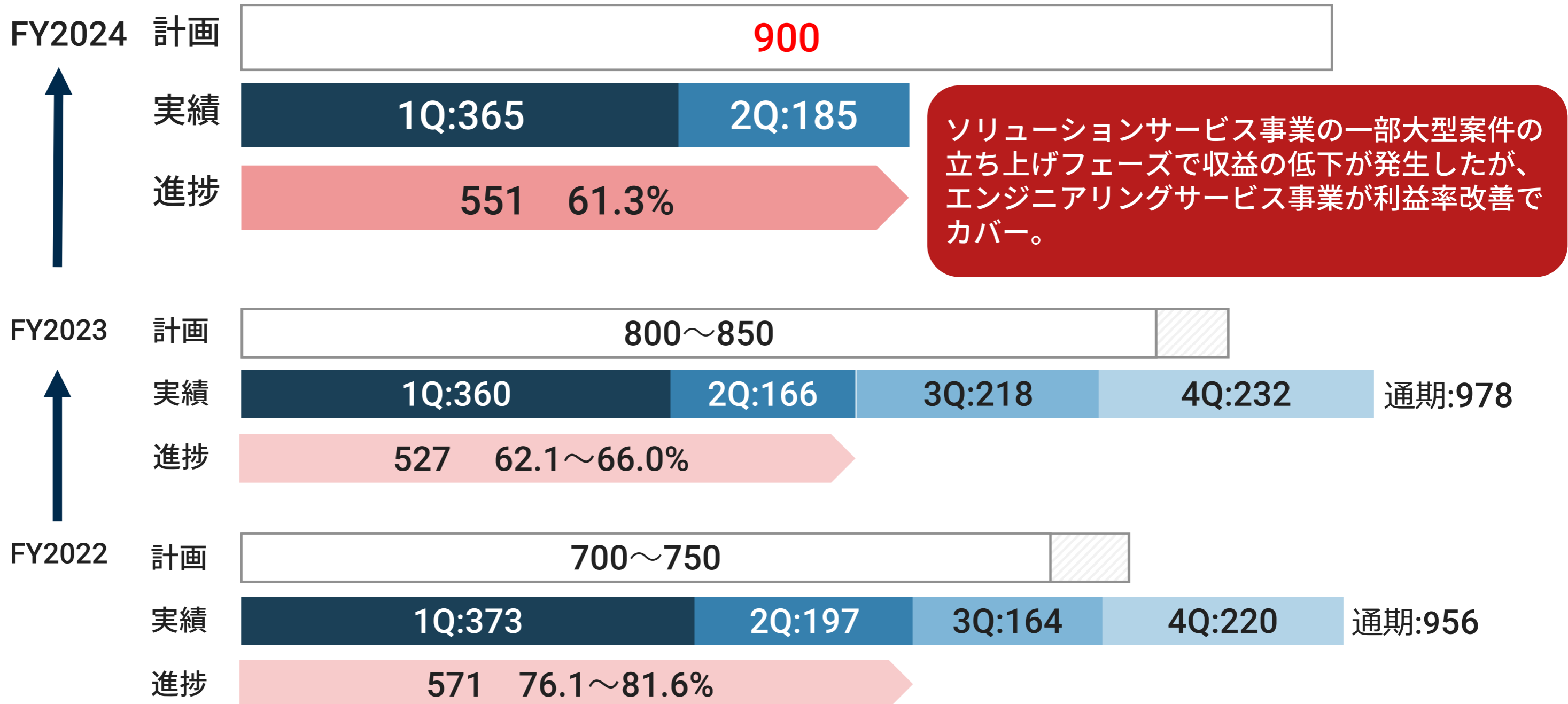




事業進捗状況（営業利益）

通期営業利益予想に対する上期進捗率

(単位：百万円)





ソリューションサービス事業

3



ソリューションサービス事業

お客様が抱えておられる課題の抽出やニーズの確認、システム導入後の効果の検証などをお客様目線で行い、当社保有のパッケージを活用した業務の効率化を実現します。

製造
DX

製 造業のお客様の課題に対して、自社開発パッケージとCAD技術を活かし、お客様のビジネスプロセス（営業活動～設計～アフターサービス）を改善するサービスを提供しています。



営業支援見積作成コンフィギュレータシステム



保守点検・修理サービス管理支援システム

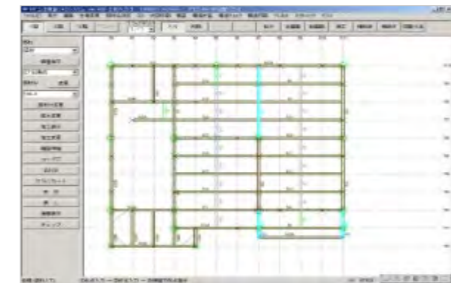
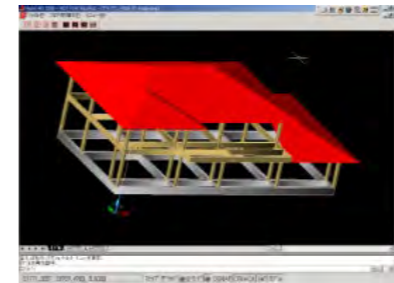
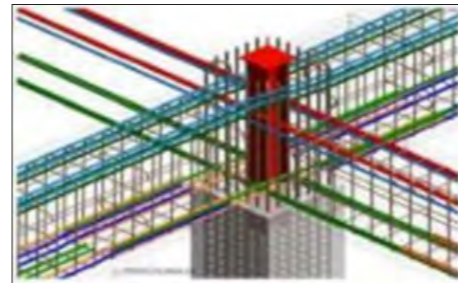


パーツカタログ配信システム

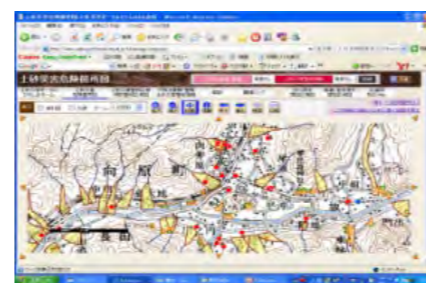


建設
DX

建 設・設備業のお客様に対して、BIM、CAD、施工管理、設備設計など幅広い領域で、お客様のビジネスプロセス（設計、構造、省エネ、施工、点検）を改善するサービスを提供しています。



地 理情報システム（GIS）を活用し、電力・ガス・建設・不動産・物流などのお客様の業務効率化の支援をしています。





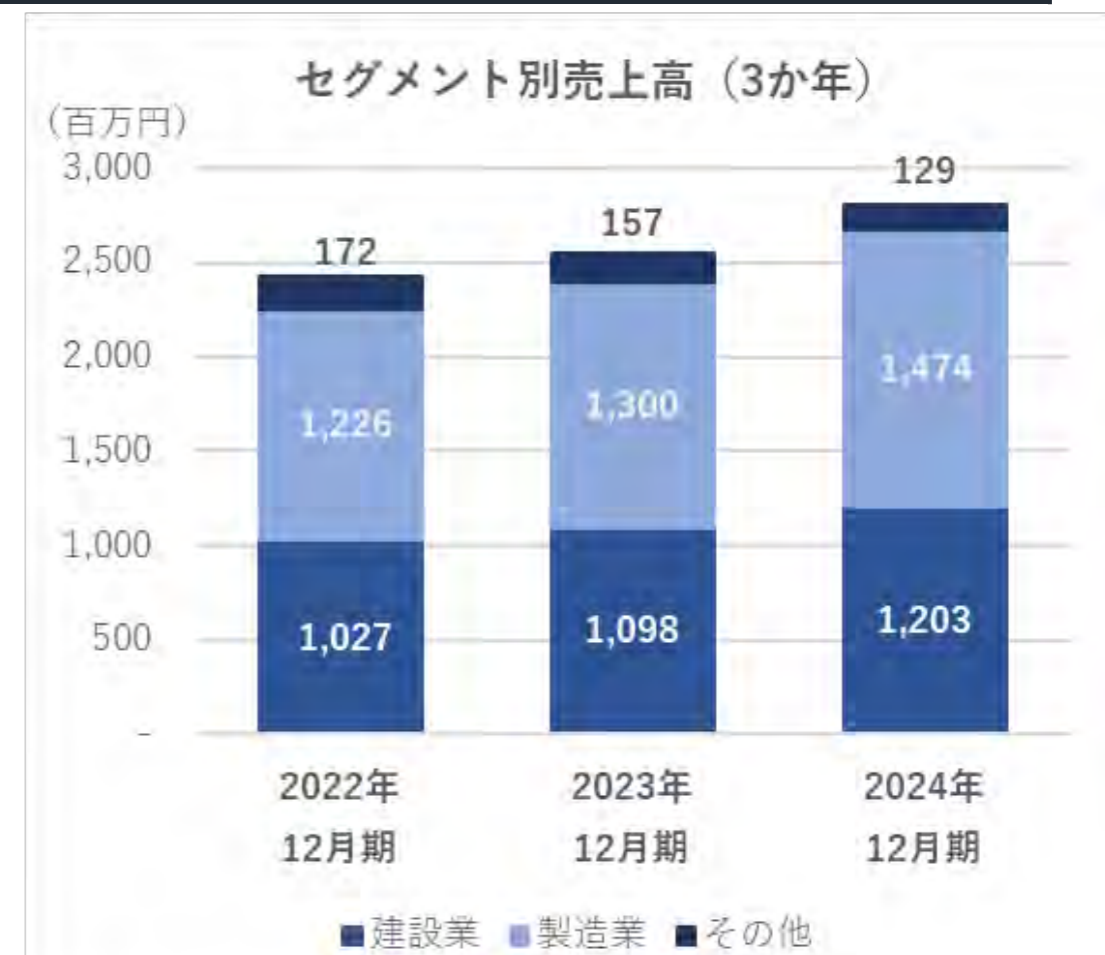
ソリューションサービス事業

業績推移

2022年12月期より新収益認識基準を適用しております。

(単位：百万円)

	中間会計期間		業績推移		
	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高	1,651	1,973	2,426	2,555	2,807
営業利益	427	526	558	623	544
売上高営業利益率	25.9%	26.7%	23.0%	24.4%	19.4%





エンジニアリングサービス事業

4

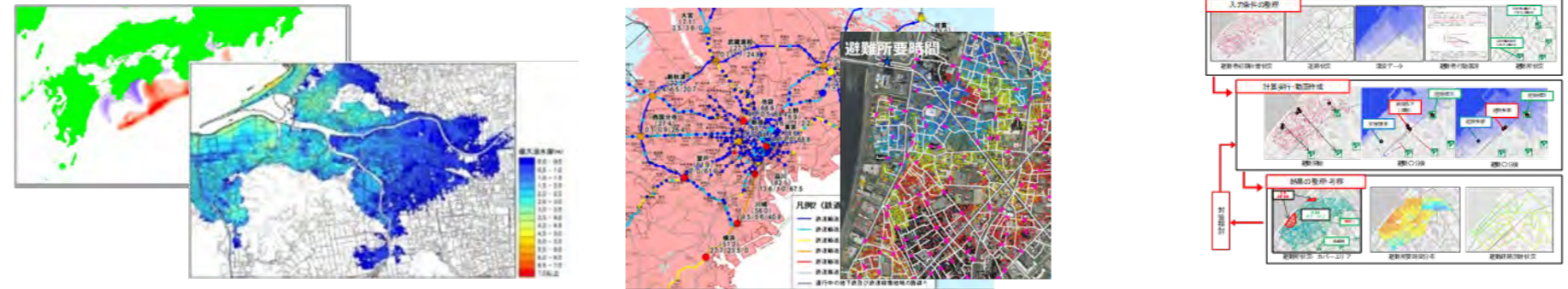


エンジニアリングサービス事業

エンジニアリングサービス事業は3つの分野を柱に、高度な解析・計算技術を活用した課題解決型のコンサルティングサービスで社会に貢献しています。

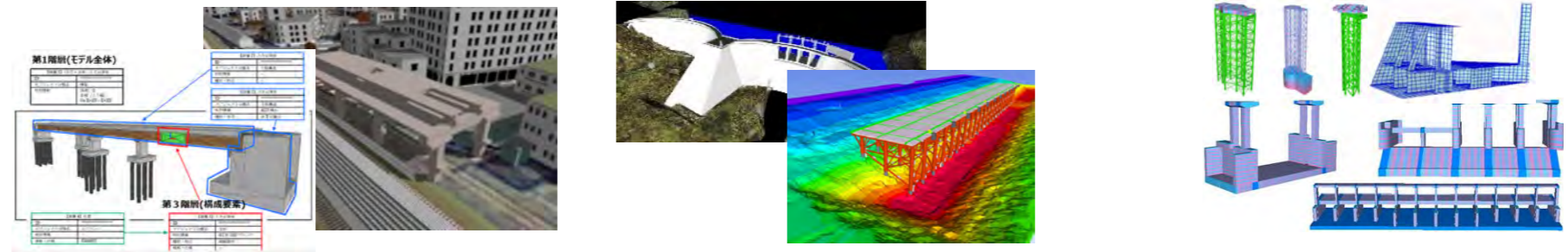
防災
減災

防 災・減災分野での専門性と数値シミュレーション技術を活かし『防災・減災対策』『社会資本の維持管理』『安心・安全な生活』に関するエンジニアリングサービスを提供しています。



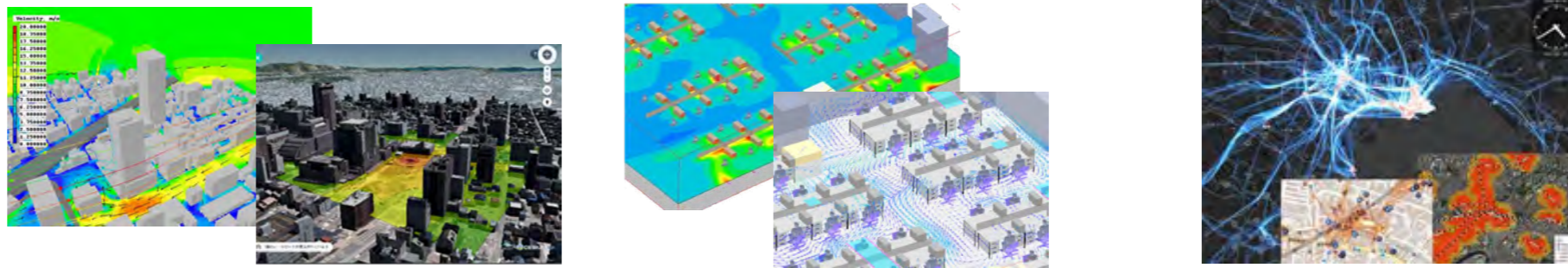
建設ICT
CIM

建 設ICT・CIM分野では、建設ICT、CIM-プラットフォーム、3次元モデリング、GIS技術を活用し、建設生産性の向上のための情報基盤整備、公共・インフラ分野に関するマネジメントを支援しています。



環境
まちづくり

環 境・まちづくり分野では、環境・社会調査技術、人流データ等の解析技術を活かし『生活環境改善』『カーボンニュートラルな社会の実現』のためのコンサルティングサービスを提供しています。





エンジニアリングサービス事業

業績推移

2022年12月期より新収益認識基準を適用しております。

(単位：百万円)

	中間会計期間		業績推移		
	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高	1,125	1,273	1,068	1,078	986
営業利益	308	377	309	231	259
売上高営業利益率	27.4%	29.6%	29.0%	21.5%	26.3%





重点施策の取り組み状況

5



重点施策の取り組み状況（建設）



設計～生産～施工を繋ぐ（BIM+データで業務を行う仕組み）

FULL BIMの実現に向けた活動 → 「BIMモデル」を使いこなす

2D図面、技術図書

Smart BIM Connection

LOD 100

LOD 200

LOD 300

LOD 350

意匠

躯体

構造

設備

製作図

施工図

施工～

AUTODESK Revit + BooT.one

Connect.one Insight

Docs

BUILD

BIM Collaborate

Takeoff

施工前～施工を効率化するDXプラットフォーム

Autodesk Construction Cloud™

ゼネコンが作成するもの

- ・関係する企業との間で施工上必要な業務(資料、書類 等)のDX化
- ・すべての工程において「モデル+データで仕事を行う」仕組みを構築



協力業者が作成するもの

- ・部分詳細図
- ・単品図
- ・施工要領書
- ・製作要領書
- 等々の膨大なOutput

施工前業務 (PreConstruction)

- ・見積積算(労務、材料 他)
- ・サプライヤ管理/調達 (調達 RFx 他)
- ・施工計画(リソース計画 他)
- ・施工シミュレーション(4D/5D)
- ・バリューエンジニアリング



施工情報共有伝達ツール等

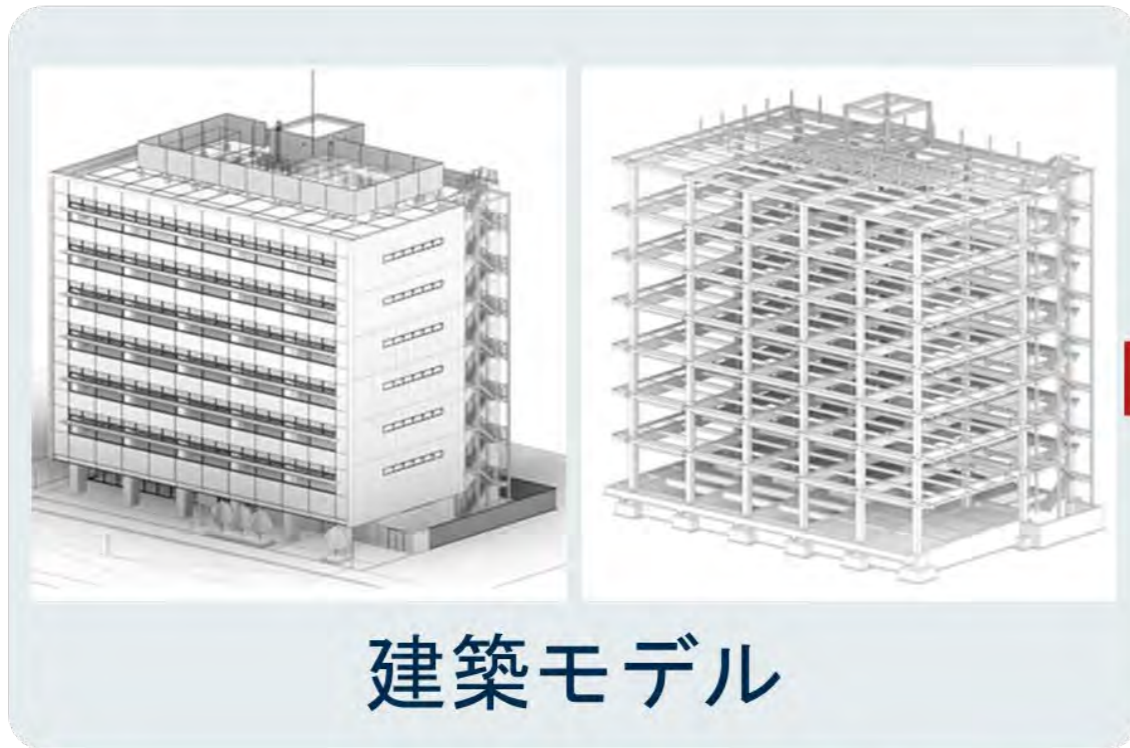
- ・ANDPAD
- ・現場PLUS
- ・ApaiderPLUS
- ・フォトアクション
- ・KANNA
- ・ダンドリワーク
- ・eYACHO 等



重点施策の取り組み状況 (建設)

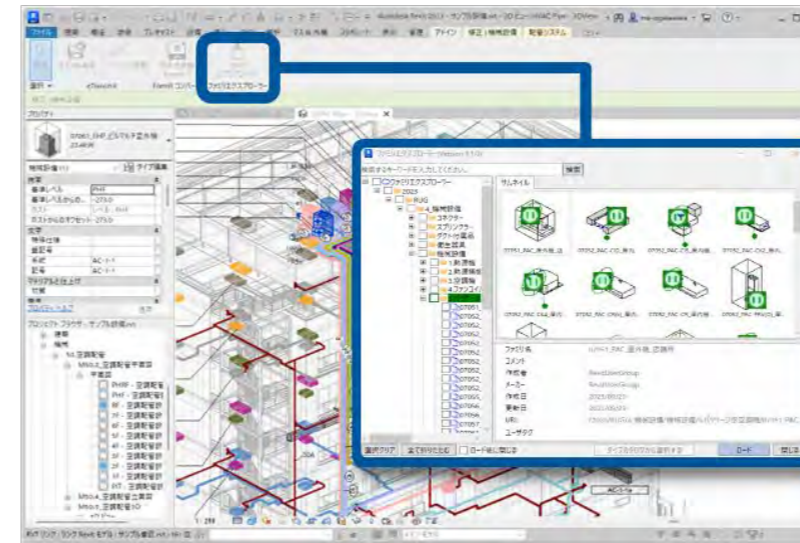
BIMモデルを中心に、ゼネコン・サブコン・設備メーカーを繋ぐ FAMILY EXPLORER を提供。今後、機能拡張を進め、利用者の利便性を高めていく。

1 建築モデル取り込み

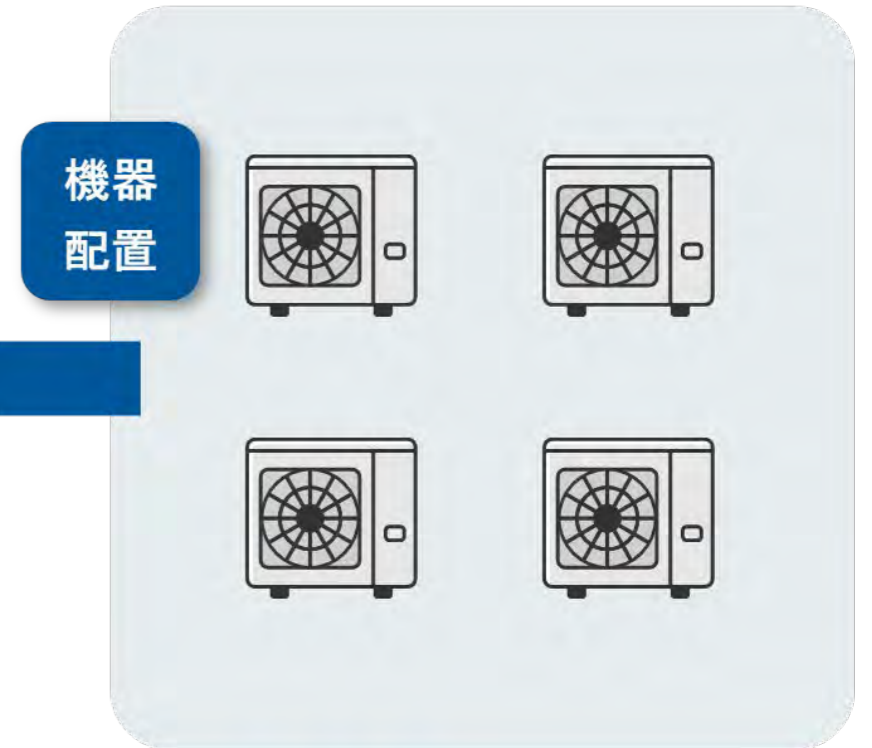


建築モデル

Autodesk Revit



2 機器を選定・配置



BooT.one Family Explorer





重点施策の取り組み状況（建設）

建築建築通信新聞 BIM特集号掲載（2024/5/30）

P.7

【本紙2部】 2024年（令和6年）5月30日（木曜日） 建設 西文 5頁 1頁 2頁 3頁 4頁 5頁 6頁 7頁 8頁 9頁 10頁 11頁 12頁 13頁 14頁 15頁 16頁 17頁 18頁 19頁 20頁 21頁 22頁 23頁 24頁 25頁 26頁 27頁 28頁 29頁 30頁 31頁 32頁 33頁 34頁 35頁 36頁 37頁 38頁 39頁 40頁 41頁 42頁 43頁 44頁 45頁 46頁 47頁 48頁 49頁 50頁 51頁 52頁 53頁 54頁 55頁 56頁 57頁 58頁 59頁 60頁 61頁 62頁 63頁 64頁 65頁 66頁 67頁 68頁 69頁 70頁 71頁 72頁 73頁 74頁 75頁 76頁 77頁 78頁 79頁 80頁 81頁 82頁 83頁 84頁 85頁 86頁 87頁 88頁 89頁 90頁 91頁 92頁 93頁 94頁 95頁 96頁 97頁 98頁 99頁 100頁

地域建設業への道しるべ提供

美保テクノスの成功例が基盤

導いた根拠を支援パッケージに

美保テクノスの成功例が基盤となる支援パッケージを提供し、地域建設業への道しるべを提供する。

美保テクノスの成功例が基盤となる支援パッケージを提供し、地域建設業への道しるべを提供する。

美保テクノスの成功例が基盤となる支援パッケージを提供し、地域建設業への道しるべを提供する。

みんなに優しいBIMを目指して

BIM データをもっと気軽に活用してみませんか？
クラウド環境にアップロードされた BIM データを検査業務や数量算出などで徹底活用！
BIM ソフトに不慣れな方でも、簡単に BIM データを活用して業務効率化が行えます。
手のひらから BIM につながるサービスとして Connect.one シリーズは進化し続けます。

人と技術の融合によるワンストップ BIM サービス

- システム開発
- 導入サービス
- 活用サービス
- BPOサービス
- システム提供

誰もが BIM につながる世界へ
A world connected to BIM

trans cosmos 応用技術株式会社
https://tobim.net

P.16

日本の「木造 BIM」確立へ

大和ハウス工業×MAKE HOUSE×応用技術

検証プロジェクト重ね標準化／木造 BooT.one も開発進行

日本の「木造 BIM」確立へ。大和ハウス工業、MAKE HOUSE、応用技術が連携し、木造 BIM の標準化と開発を進めている。

日本の「木造 BIM」確立へ。大和ハウス工業、MAKE HOUSE、応用技術が連携し、木造 BIM の標準化と開発を進めている。

日本の「木造 BIM」確立へ。大和ハウス工業、MAKE HOUSE、応用技術が連携し、木造 BIM の標準化と開発を進めている。

みんなが使えるBIMを目指して

BooT.one には BIM をはじめるのに必要な全てがあります。
一つ一つ丁寧に作りこんでいるため、すべてが相互に連携し、
Revit のユーザビリティをかつて無いほど向上させています。
BooT.one は皆様と一緒に成長していくプラットフォームであり続けます。

to BIM 人と技術の融合によるワンストップ BIM サービス

- システム開発
- 導入サービス
- 活用サービス
- BPOサービス
- システム提供

誰もが BIM につながる世界へ
A world connected to BIM

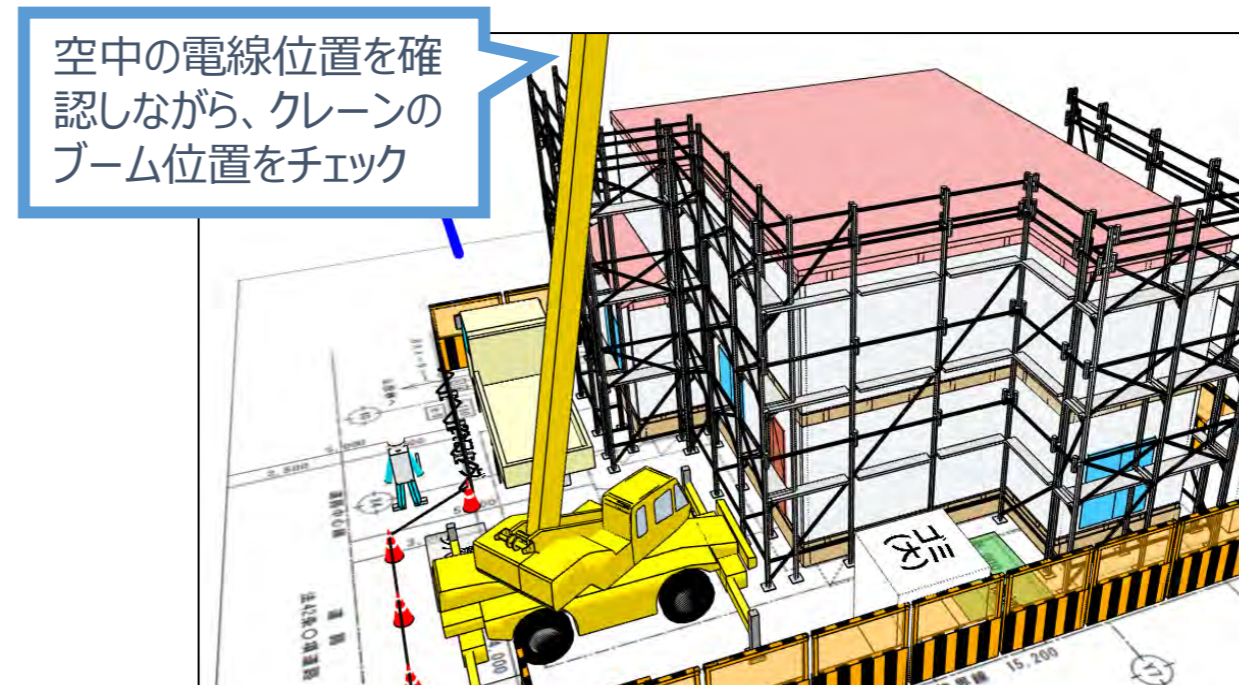
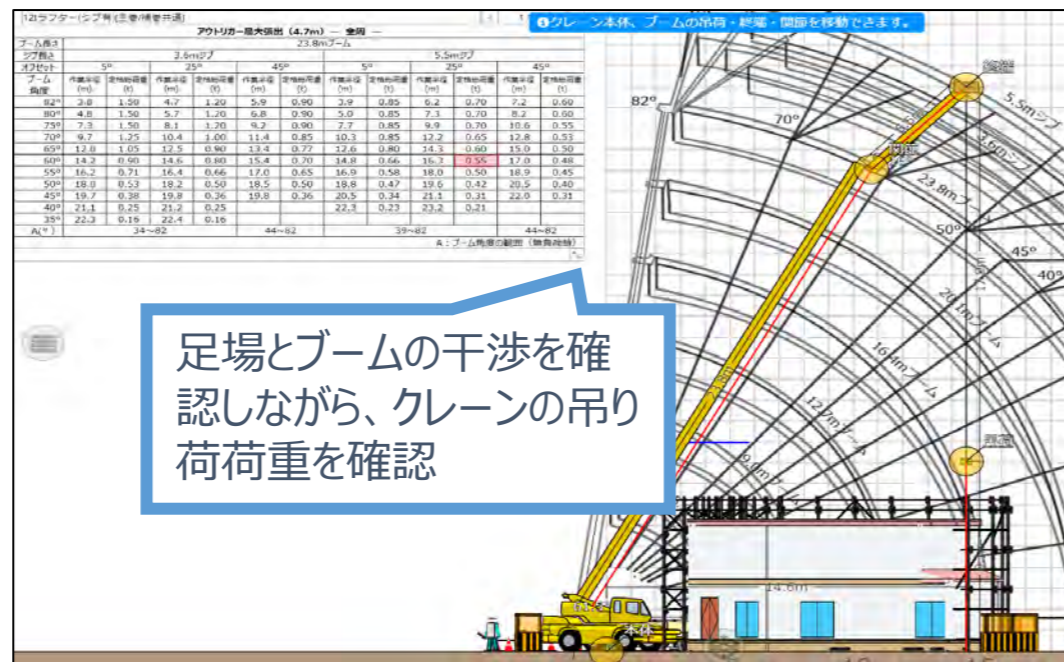
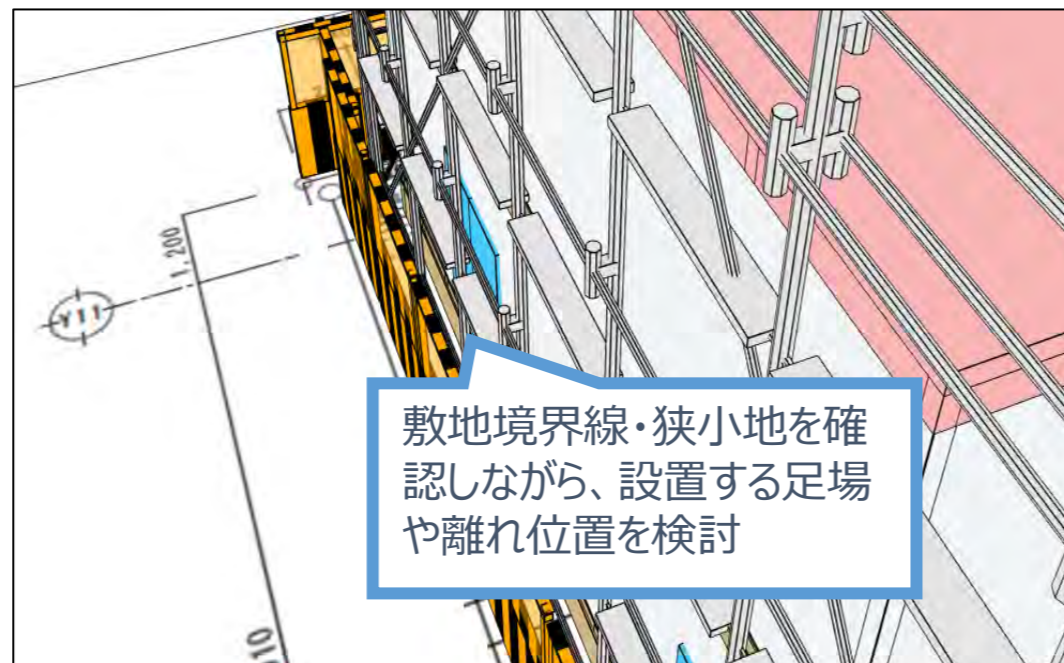
trans cosmos 応用技術株式会社
https://tobim.net



重点施策の取り組み状況（建設）

WebConstructionPlanner（3D施工計画支援システム）

建設工事を円滑に進めるうえで重要な仮設計画を行うサブスクリプションサービスをリリースしております。既に大手ハウスメーカーの新築全棟で採用されており、順次ユーザーを拡大中です。



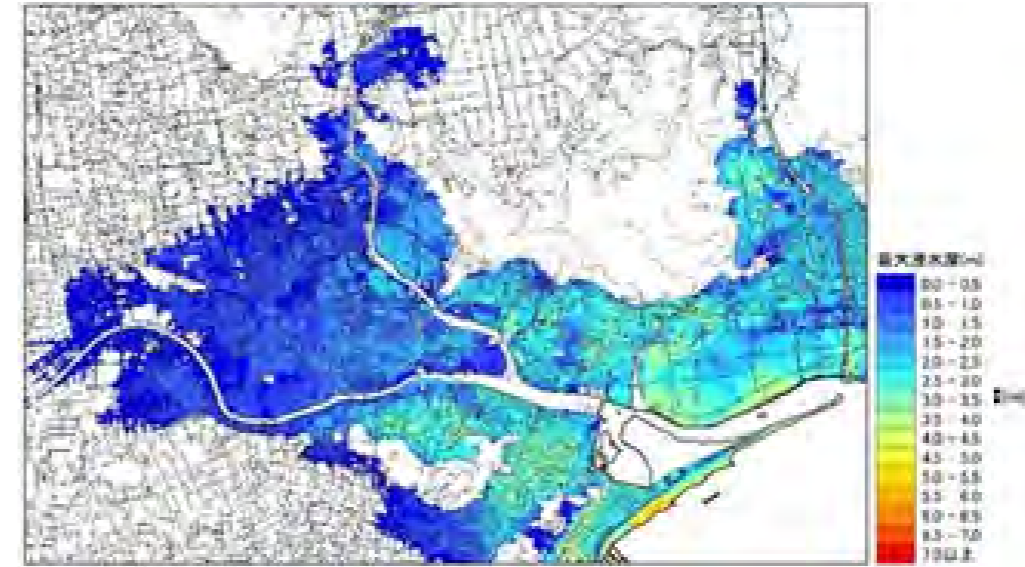


重点施策の取り組み状況（防災・減災）

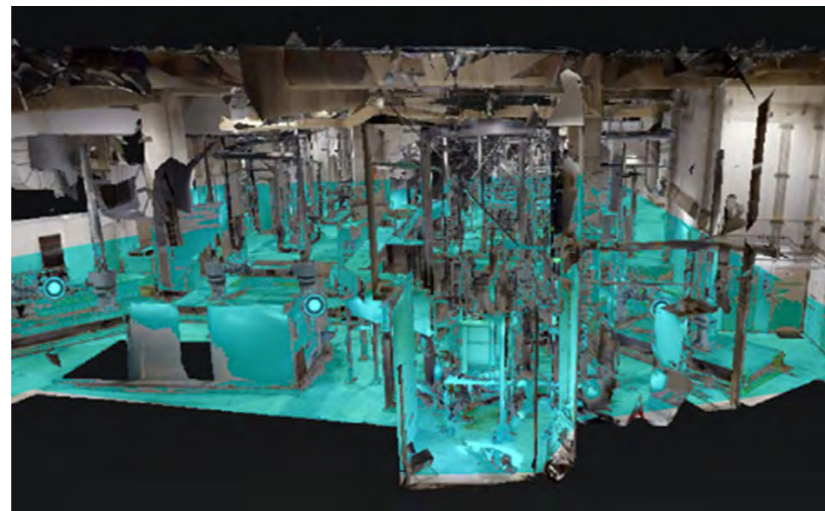
防災・減災技術（Bigdata, IoT）を新たなまちづくりへ活用



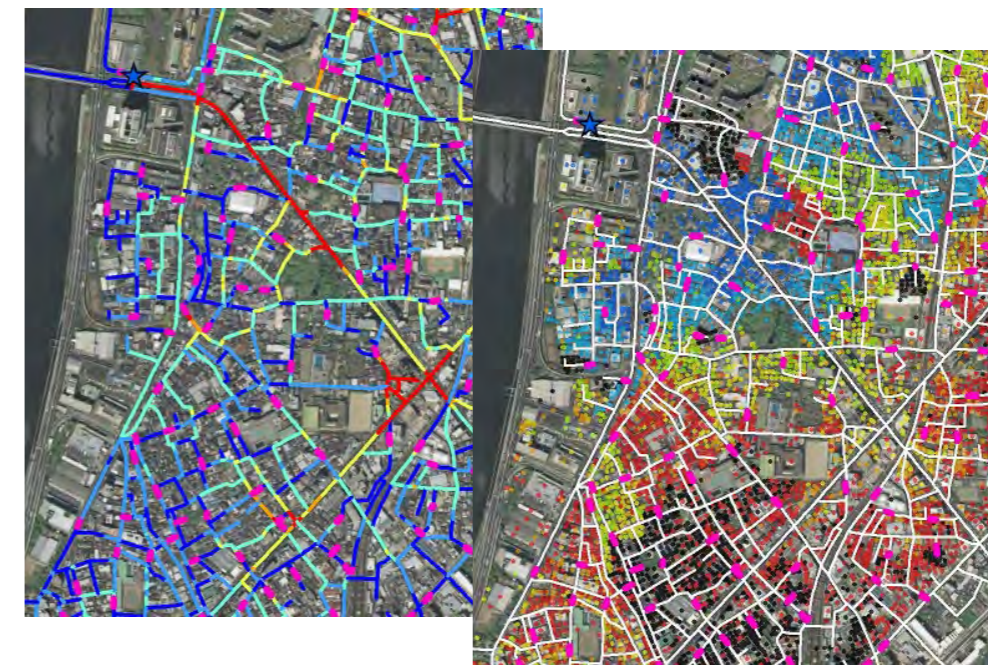
3D都市モデル(PLATEAU)を活用した
津波浸水シミュレーション



氾濫シミュレーション



インフラ耐水化評価（3D情報管理）

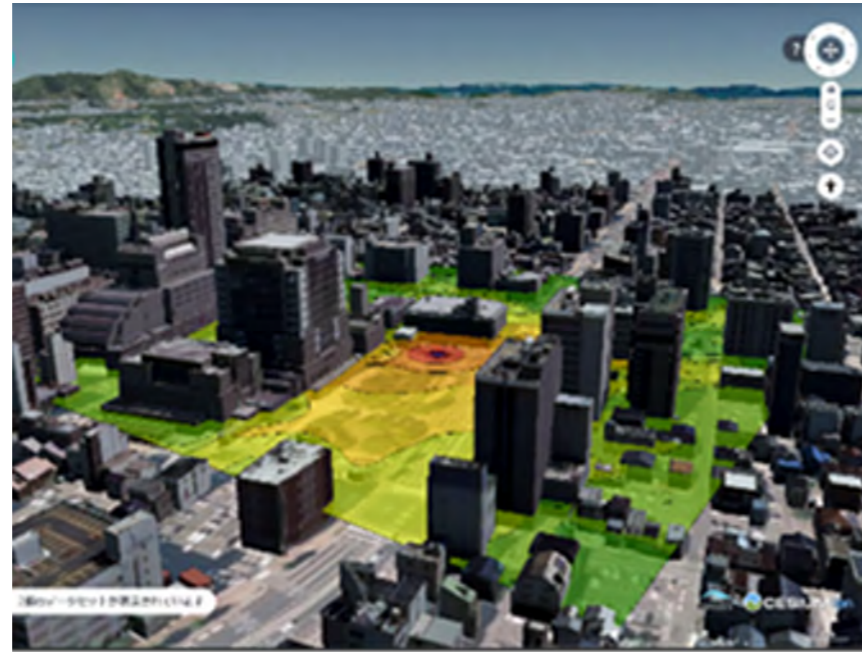


地震火災による建物倒壊と避難経路遮断、
大量の避難者による混雑、避難の遅れ

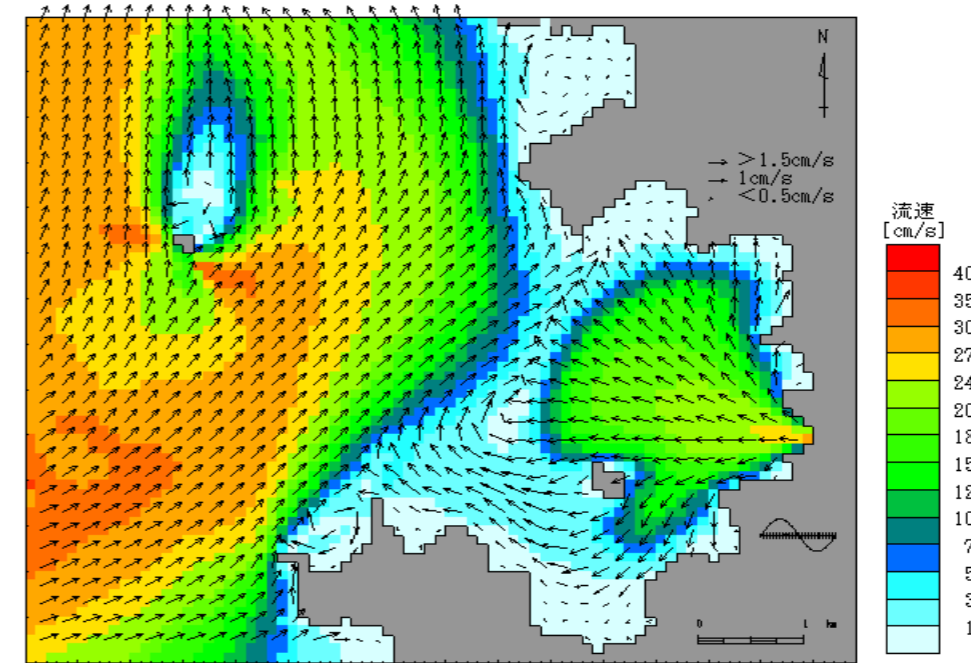


重点施策の取り組み状況（環境解析・まちづくり）

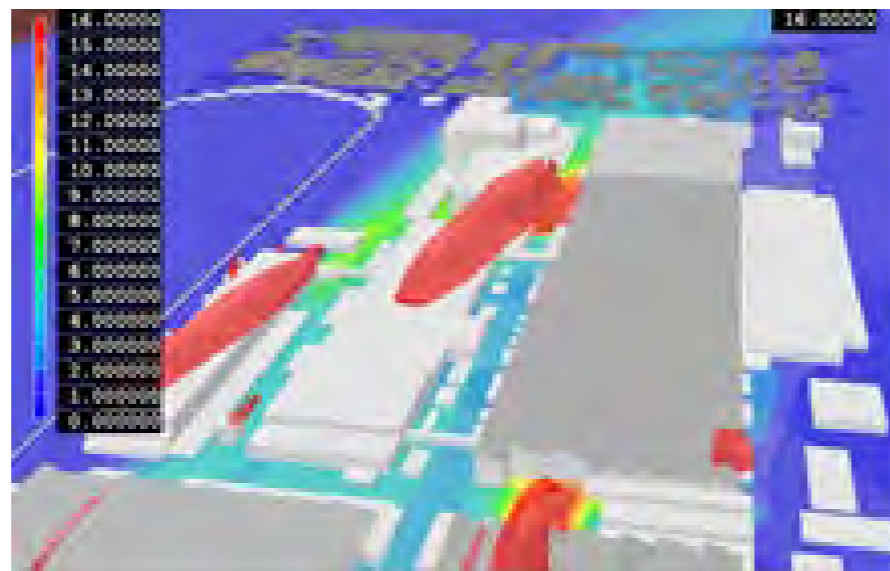
様々な環境シミュレーションを新たなまちづくりへ活用



3D都市モデルを活用した環境シミュレーション



潮流シミュレーション



悪臭対策・大気拡散シミュレーション



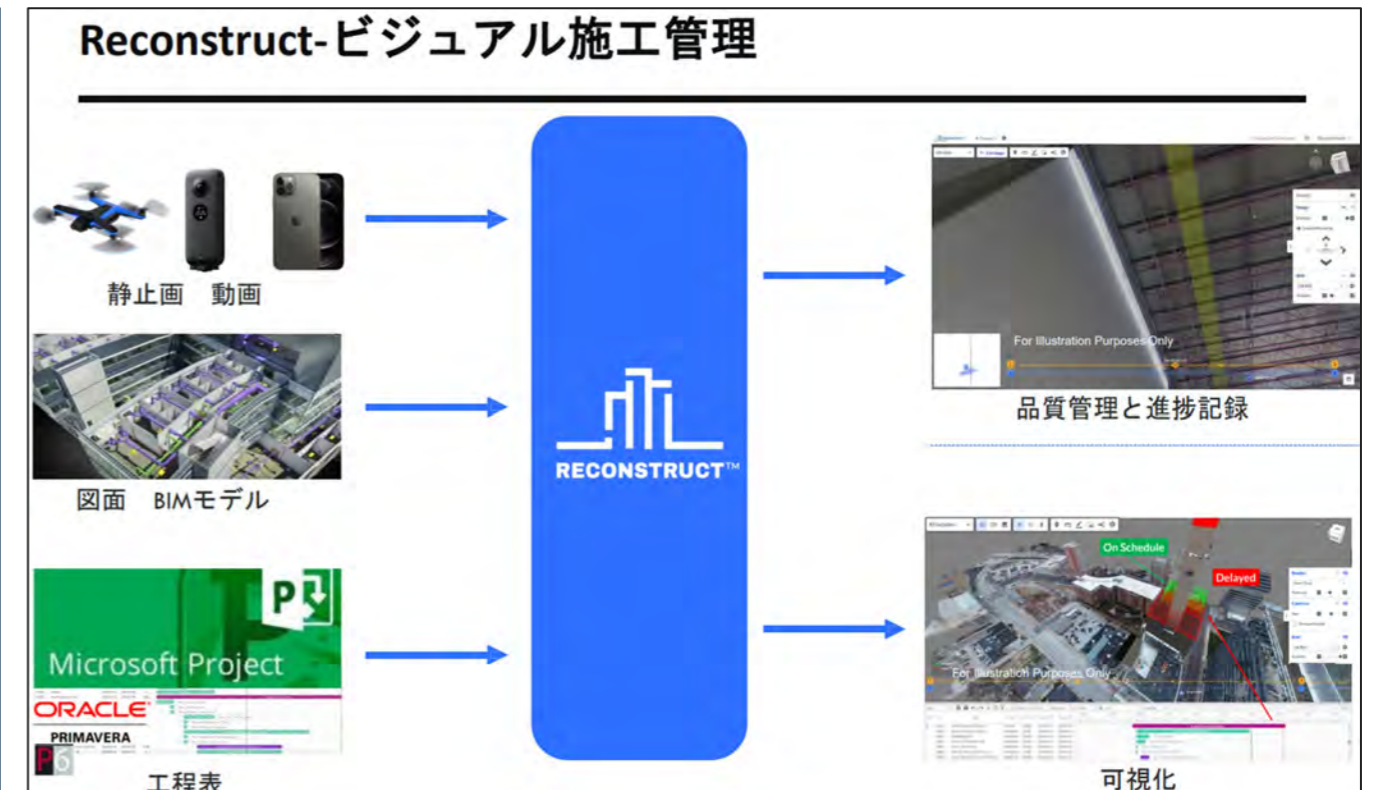
人流データ分析とまちづくりシミュレーション



重点施策の取り組み状況（土木）

toCIMサービス BIM/CIM属性管理ツール『Navismaster』の展開・普及

2023年度より、すべての公共工事がBIM/CIM原則適用の対象となりました。BIM/CIM業務の効率改善を目的に属性管理作業をサポートするアドインツール『Navismaster』を2022年6月にリリースし、市場のニーズを取り込みながら2024年5月にはVer 3.3へとアップグレードを行いました。ホームページでは「toCIMポータル」サイトを立ち上げ、情報発信を加速しています。また、toCIMサービスの支援ソフトの一環として、リモート品質管理とデジタル進捗管理を可能にする『Reconstruct』の販売を開始しております。

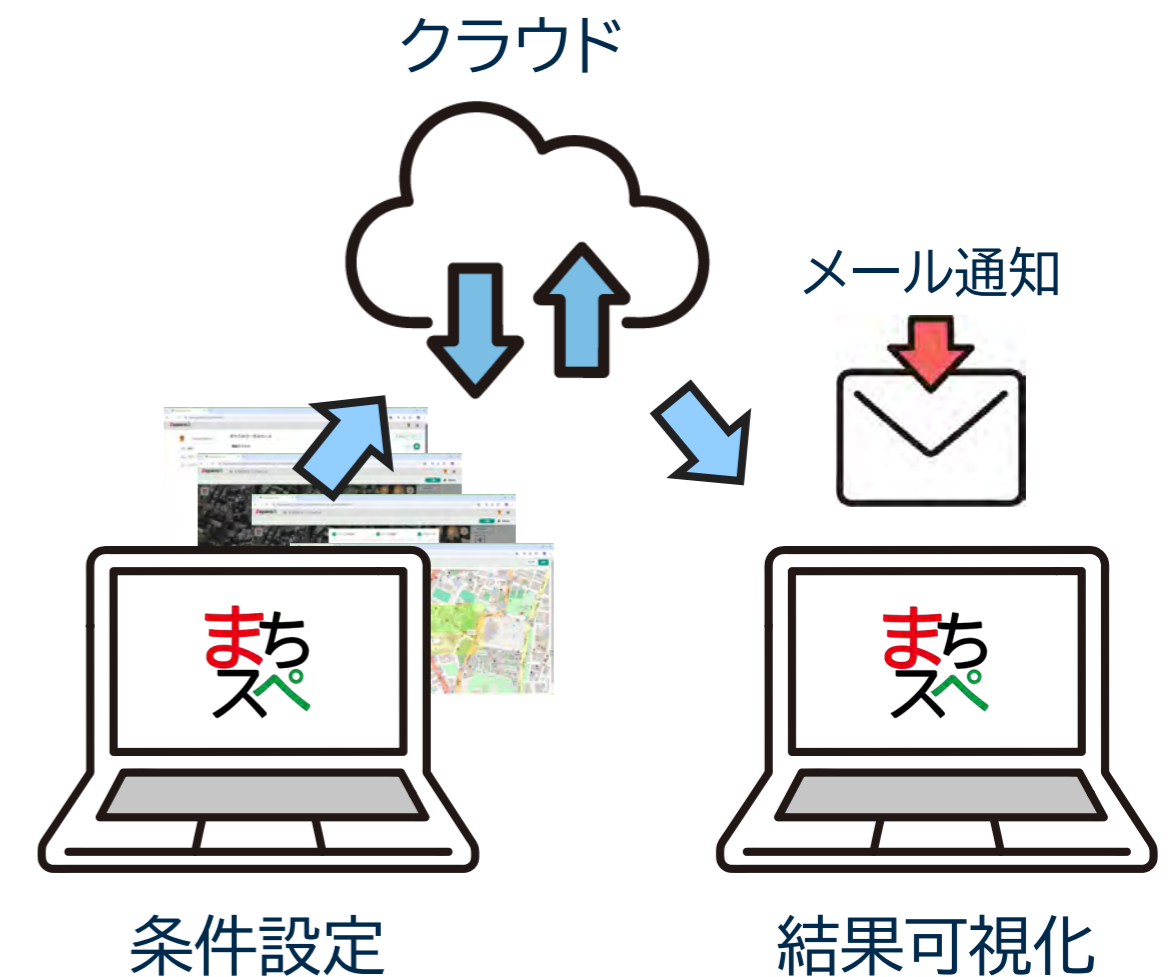
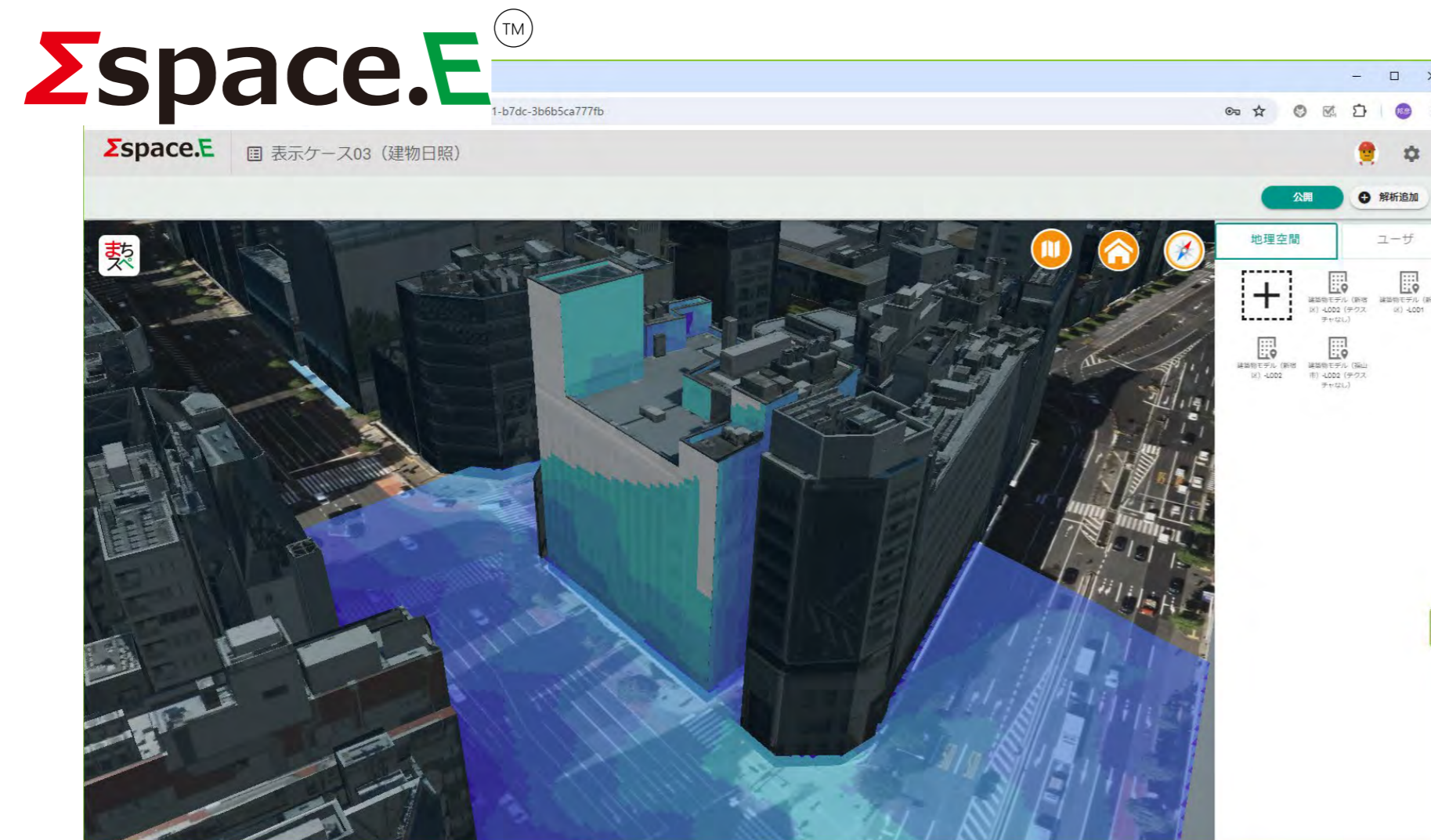




重点施策の取り組み状況（都市データ利活用）

toENGサービス デジタルツインプラットフォームの利活用

『都市のデジタルツイン活用コンサルティングビジネス』の研究を進めており、その成果としてWEBブラウザ上で身近な環境の簡易解析と、その結果の可視化・共有が可能な「まちスペース™」を開発しました。現在、リリース前のテスト調整作業が進行中であり、近日中の公開を予定しています。





重点施策の取り組み状況（ものづくり）

既存の枠組みにとらわれない新しい価値を！

Additive Manufacturing

～プロダクト改革～



新しい設計手法・製造工法による付加価値を創出

部品最適化

～デザイン改革～



部品のポテンシャルを最大限活かす設計デザイン

Machining

～プロセス改革～



ノウハウのデジタル活用、属人化の脱却

Digital Automation

～デジタル改革～



デジタル活用によるオートメーション化



重点施策の取り組み状況（ものづくり）

ものづくりに革新を起こすプラットフォームサービスの展開に注力

導入支援



ソリューションの導入・操作トレーニング



システム開発

お客様の課題解決に向けた
自動化・効率化のためのシステム開発

コンサルティング
活用支援

パーツクリーニング
導入メリット算出



設計
【Engineering Chain】
ものづくりDX
プラットフォーム

試作

生産

部品加工
試作開発
量産化支援

toDIMパートナー企業と連携した
造形依頼・二次加工・検査

BPO
ソリューション

軽量化・最適化設計検討
造形を見据えた設計支援・委託

市場調査

商品企画



製造業企業



大学・研究機関

要素技術等を持った大学や研究機関との連携

加工機メーカー・加工工場
検査工場・機関

製造業における様々な加工方法から
最適な方法提案するためのパートナー

様々な業種のお客様に参加頂くことで
ノウハウや知見を蓄積



重点施策の取り組み状況（ものづくり）

プロダクト改革サービス：「Generative Design」、「Additive Manufacturing」の活用

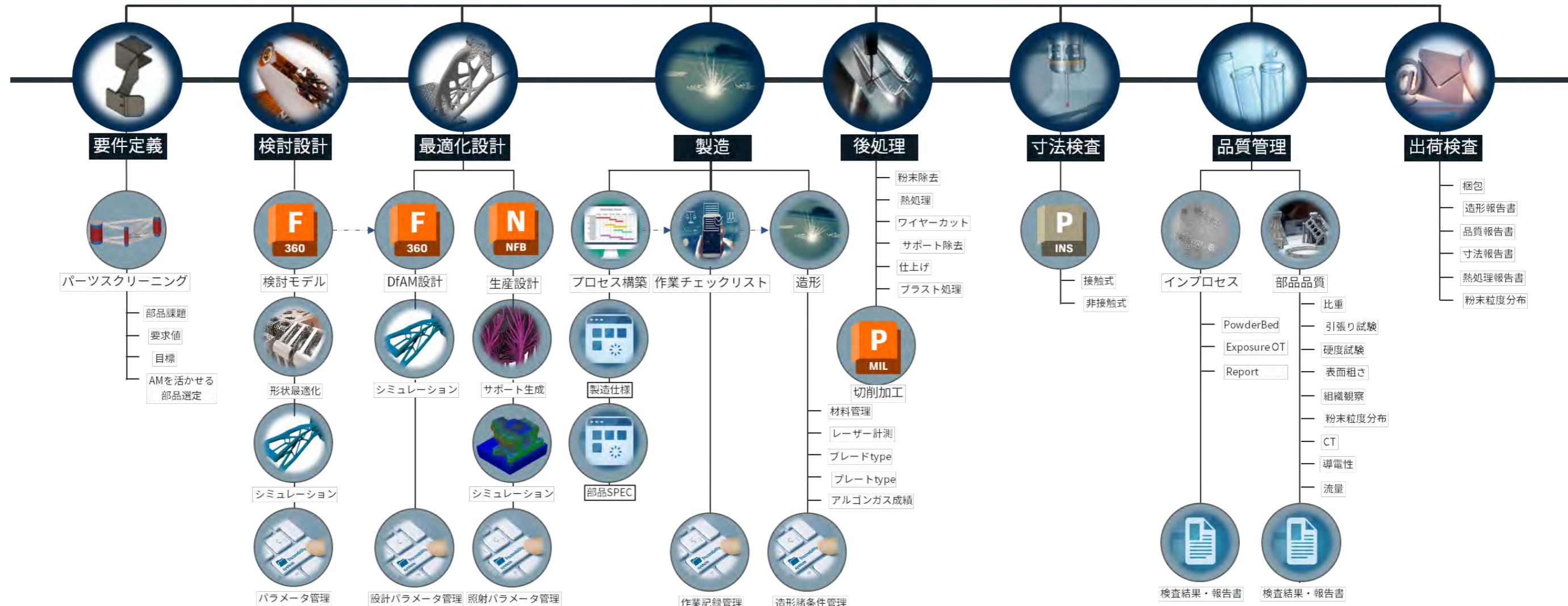
お客様の技術ノウハウ蓄積やスキル向上をめざしプロジェクト全体をサポート
AM活用における現場力・技術力・課題解決能力の向上をめざしAMコーディネーターを育成

【お客様のスキル向上に貢献します】

1. パーツ選定、設計最適化、製造、品質までの全プロセスを理解
2. AM専用の技術トレーニングを受講いただきながら、技術スペシャリストを育成
3. AM技術、知識、プロセス、DfAM習得などAMコーディネーターを育成

【経験/習得できる項目】

- AMに適したパーツを選ぶ
- 付加価値を追求した設計
- AMの特長を活かしたDfAM設計
- プロセス保証の実現に向けた造形方案
- 要求される部品特性に応じた後処理、品質検査の確立





重点施策の取り組み状況（ものづくり）

プロセス改革サービス：“MillEdge.hub”β版をリリース

切削加工ノウハウの蓄積を支援し、技術の属人化を解消

登録

Input

CAMに依存しない仕組み
登録画面を統一



工具情報

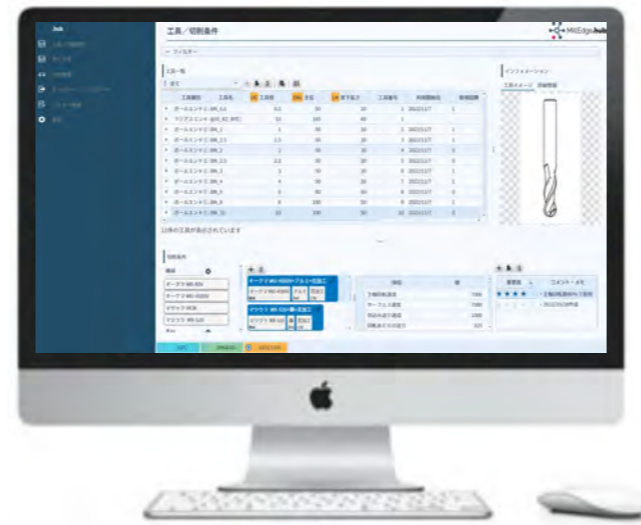


切削条件



加工工程

MillEdge.hub



活用

Output

CAMとのマッピング機能
複数のCAMへ連携可能



AUTODESK
Fusion 360



AUTODESK
PowerMill

他のCAMとの連携も
随時対応可能であるオープンな環境

管理

Maintenance

柔軟なパラメータ設定

CAMにないユーザ独自のノウハウ管理



重点施策の取り組み状況（ものづくり）

プロセス改革サービス：“Ezsurf.make”をリリース

CAMエンジニアの作業時間を70%以上削減！

CAM最適化ソリューション



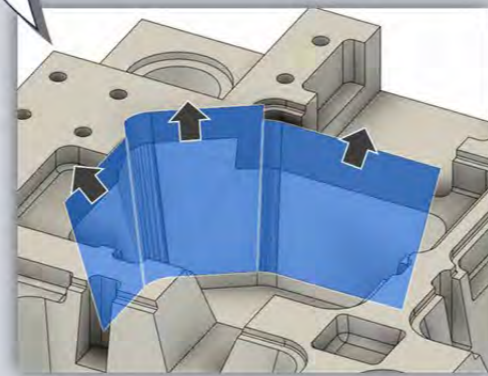
CAM延長面の設計プロセスが圧倒的に短縮！！

～現状お使いのCAD/CAMを変更することなく、金型延長面作業を70%以上削減～

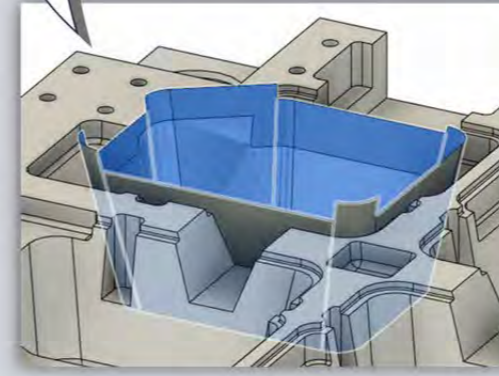


EZsurf.make

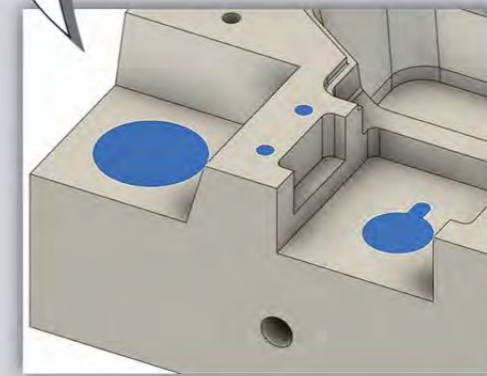
面を一枚一枚延長するのは面倒・・・



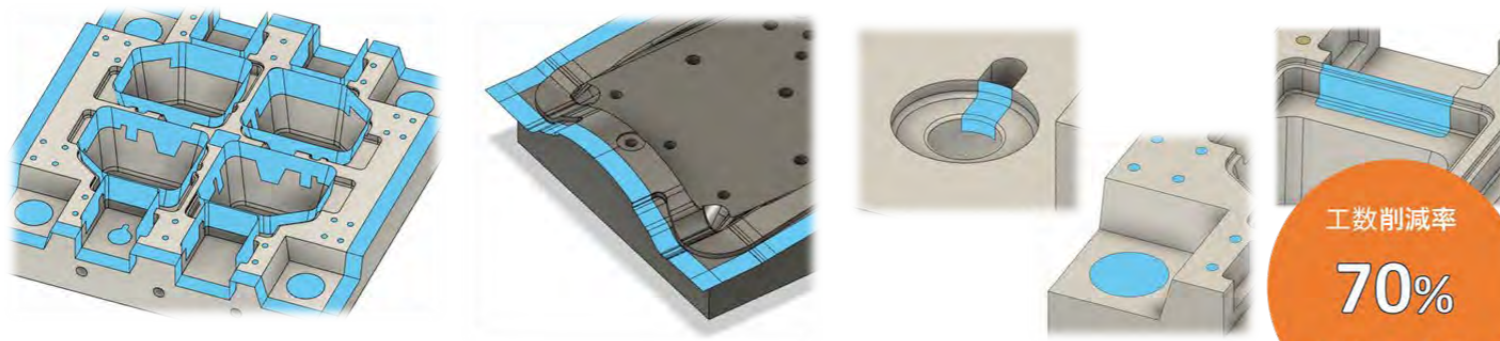
延長面の高さを揃えたい・・・



複数の穴を一括で埋めたい・・・



EZsurf.make で解決できます



工数削減率
70%
を超える効果！

煩雑だった延長面の作成が簡単操作で迅速に行える！

現状のCAD/CAMを変更する必要はありません

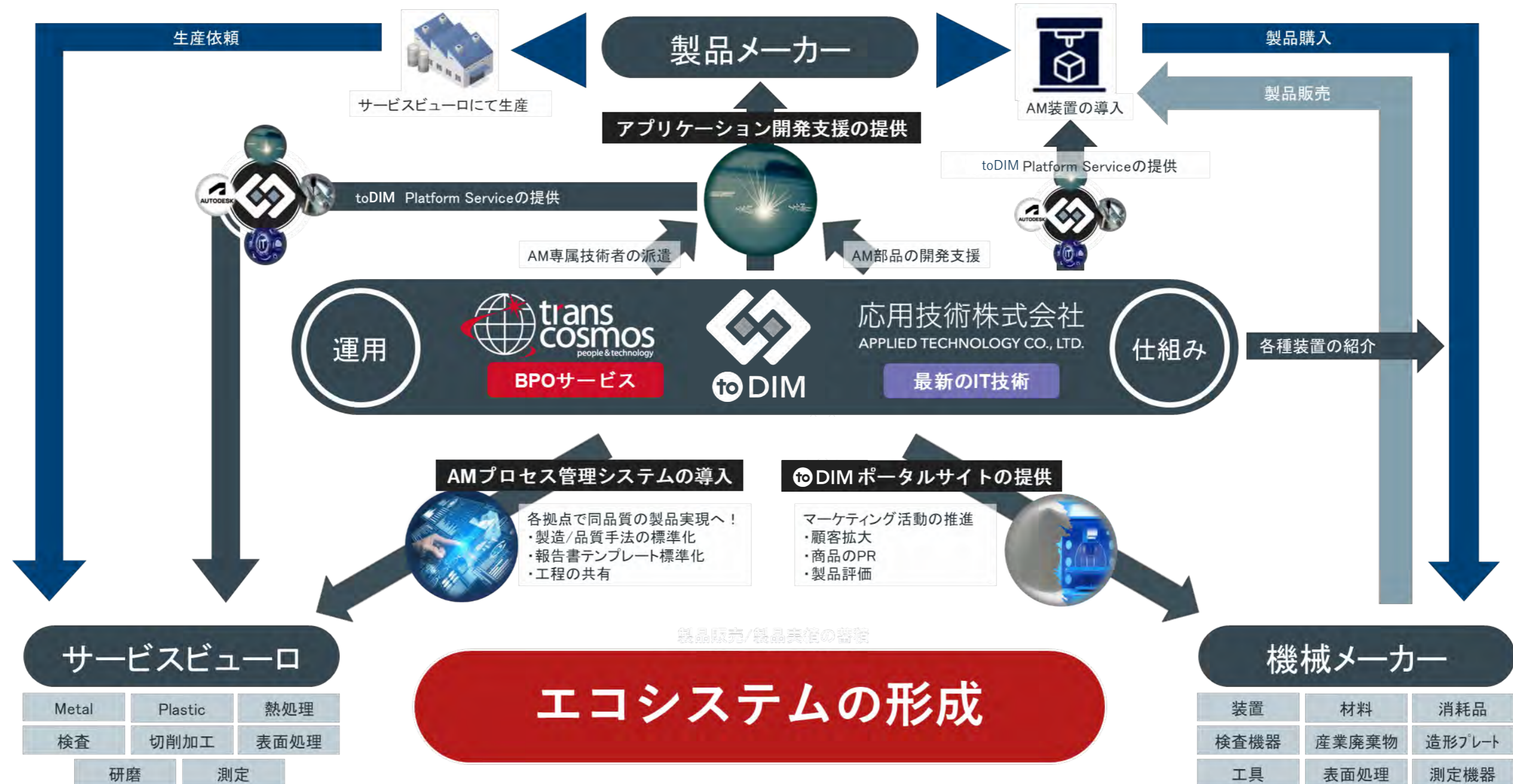


Autodesk Fusionのアドインツールとして機能し、低価格で導入可能な補助ツール！



重点施策の取り組み状況（ものづくり）

toDIM が中心拠点の役割を果たし、Generative DesignやAdditive Manufacturingの活性化、各企業の技術研鑽および事業拡大へと繋がる仕組みを構築





業績予想

6



業績予想

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率	
通 期	7,800	5.1%	900	△8.0%	910	△13.2%	628	△12.3%	109.99円

売上高営業利益率：11.5%

売上高経常利益率：11.7%

(注) 本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績目標の達成に向けて、引き続き注力してまいります。



APPENDIX

「OGI GrowUp2028」 概要
会社概要

7



OGI GrowUp2028 概要

中期経営計画（2024年～2028年）



自社を取り巻く環境と当社事業としての認識

社
会
環
境

気候変動、脱炭素社会、再生可能エネルギー

ものづくり国内回帰、外資系企業の日本進出

労働人口の減少、人材獲得競争の激化

民間設備投資 インバウンド 等の回復

防災、減災、国土強靱化、防衛予算の増加

建設、物流業界の2024年問題

人的資本経営、人材育成、働き方改革

AIの劇的な進化



当
社
事
業
と
し
て
の
認
識

再生可能エネルギー関連アセスメントの伸長 新たに内水氾濫解析業務が増加

防災、減災、国土強靱化事業の伸長 新たに防衛土木関連業務が見込める

デジタルものづくりの拡大 DX基盤としてPLMの見直しが始まる 技能ナレッジのDX化が加速

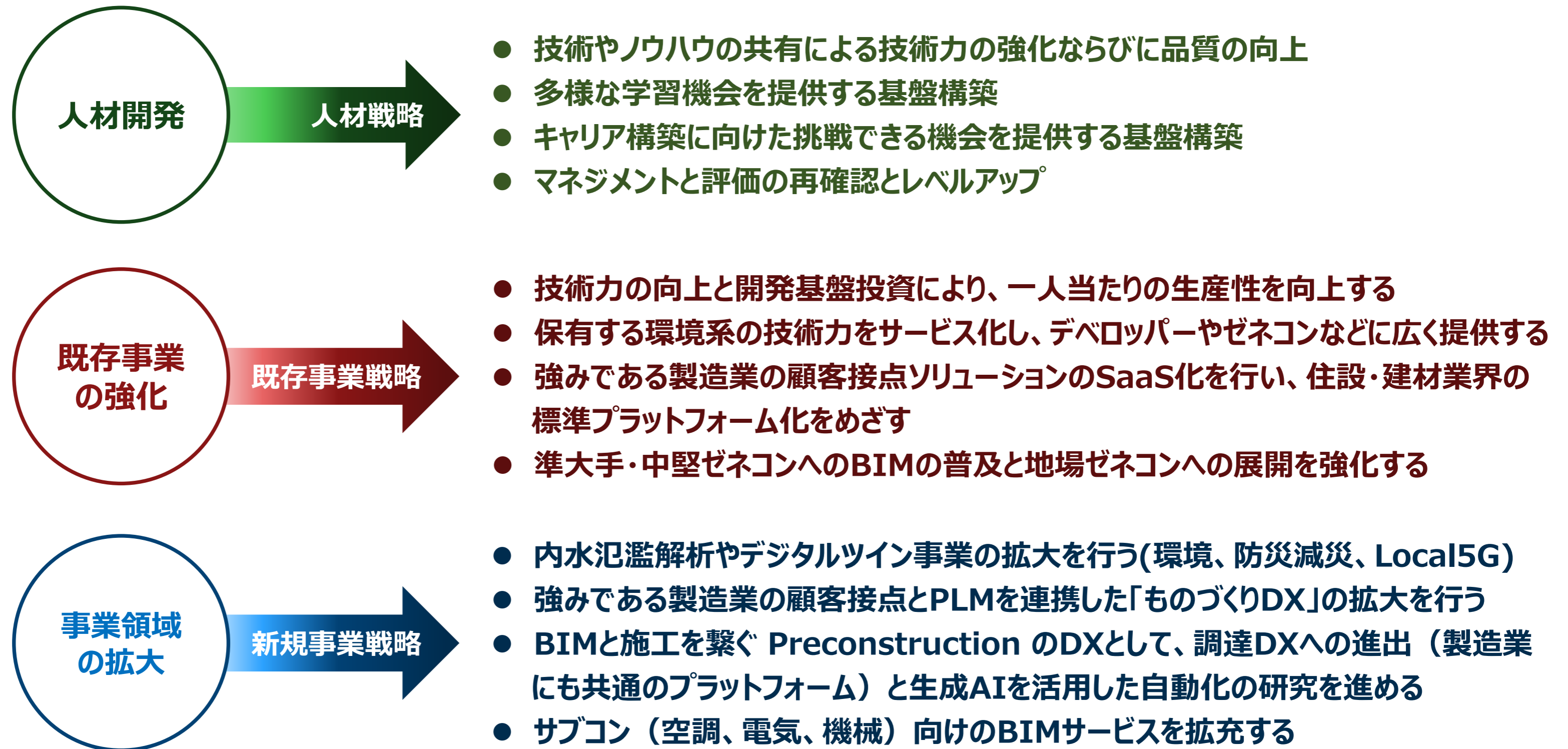
BIMと施工を繋ぐ 施工前業務(Preconstruction)のDX化、AI化が拡大する

業種ごとのエコシステム化が進展 さらにエコシステム同士が繋がり異業種間でデータ活用が進む

技術の源泉は社員であり、人的資本投資を積極的に行い、会社・社員が共に成長していく



中期経営計画での実施事項





中期経営計画の計数目標

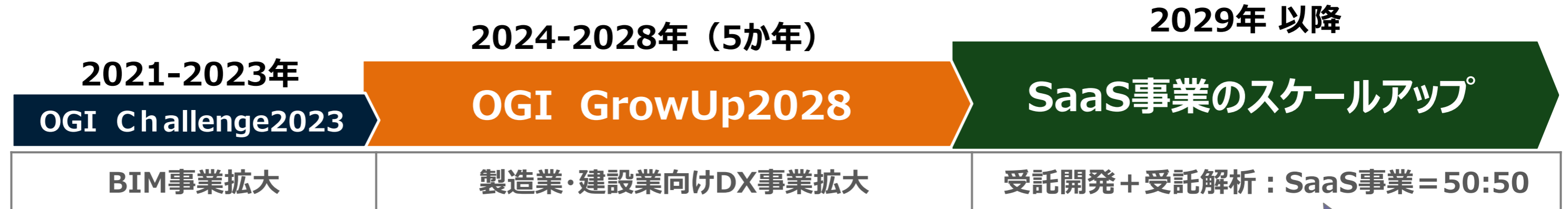
(単位：百万円)

	2023年 12月期実績	2024年 12月期計画		2028年 12月期	年平均成長率
売上高	7,419	7,800	➡	10,000	6.2%
営業利益	978	900	➡	1,500	8.9%
営業利益率	13.2%	11.5%	➡	15.0%	+1.8Pt
経常利益	1,048	910	➡	1,510	7.6%

中期経営計画「OGI GrowUp2028」は、当社がこれからも長期にわたり成長し続けるための施策を実行する期間とし、将来に向けたビジネスモデル変革を考慮した大幅な組織変更や、技術力の向上と蓄積を行うための人的資本投資ならびに社会の変化にいち早く対応した新サービスの提供を行うため、5か年の計画としました。



長期的な企業価値の向上をめざして



- ・toBIM/toCIM/toDIM 拡充
- ・住設、エクステリア関連事業拡大
- ・まちづくり事業の立ち上げ
- ・防災減災/条例アセス拡大

- ① toBIM/toCIM事業の顧客拡大
- ② toDIM事業、PLM事業の拡大
- ③ 顧客接点システムのエコシステム化
- ④ まちづくり事業の拡大とサービス化
- ⑤ 防災減災(内水氾濫解析)の拡大

2028年
 売上高：100億円
 営業利益：15.0億円

2023年
 売上高：74億円
 営業利益：9.7億円

9.7

●建設セグメントの打ち手

- ・準大手、中堅ゼネコン、サブコンへのBIM導入拡大
- ・オーナー（JR、NEXCO等）へのBIM/CIM拡大

●まちづくりセグメントの打ち手

- ・デベロッパー、ゼネコン向け環境サービスの品揃え

15.0

●製造セグメントの打ち手

- ・Milledge.hub ユーザ数拡大
- ・ものづくりコンサル事業、PLM導入社数拡大
- ・WLP, EASY等の業界標準エコシステム化の推進

●防災減災セグメントの打ち手

- ・増加が予測される内水氾濫解析の体制拡大

●新規事業の立ち上げ

- ・調達DXプラットフォーム（2024年リリース予定）
- ・BIMモデルへの生成AIの適用を研究（予定）

2020年
 売上高：48億円
 営業利益：6.8億円

6.8



会社概要

2024年6月末現在



会社概要

(2024年6月末現在)

商号	応用技術株式会社
本社所在地	〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル
代表者	代表取締役社長 船橋 俊郎
設立年月日	1984年6月14日
上場市場	東証スタンダード
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
資本金	600,000,000円
発行可能株式総数	22,200,000株
発行済株式総数	5,716,800株
単元株式数	100株
大株主（議決権所有比率）	トランス・コスモス株式会社（60.23%）
株主数	1,155名
従業員数	268名



本資料に関する特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展等により、大きく異なる可能性があります。

従いまして当社として、その確実性を保証するものではありません。

 <https://apptec.co.jp>

ご覧いただきありがとうございました。

 応用技術株式会社

課題を価値に変えるイノベーション・カンパニー